

**平成26年度  
決算の概要について  
(一般会計・特別会計)**



**舞鶴市**

## 目 次

項 目	ページ
◇ 平成26年度決算の概要について(一般会計・特別会計)	
1 平成26年度の財政運営	1
2 一般会計の決算状況	2
① 決算規模	2
(1) 決算収支	2
(2) 歳入の決算状況	3
(3) 歳出(目的別)の決算状況	7
(4) 歳出(性質別)の決算状況	11
② 基金残高の状況	14
③ 市債残高の状況	14
3 特別会計の決算状況	15
① 国民健康保険事業会計	15
② 簡易水道事業会計	15
③ 土地建物造成事業会計	16
④ 貯木事業会計	16
⑤ 下水道事業会計	17
⑥ 駐車場事業会計	17
⑦ 介護保険事業会計(保険事業勘定)	18
" (介護サービス事業勘定)	18
⑧ 後期高齢者医療事業会計	19
4 主要財政指標等の推移(平成22年度～26年度)	20
5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況	21

# 1 平成26年度の財政運営

平成26年度は、ターゲットイヤーである平成27年度に大きく飛躍するための基礎固めとして、子育て交流施設や公立保育所統合整備をはじめ、引揚記念館の大規模改修や総合文化会館、文化公園体育館の機能強化のための改修やまちの魅力づくりの事業など、数多くの事業に取り組んだところであり、歳出総額は376億9,714万円となりました。

これらの事業の財源につきましては、26年度に活用することを目的に積み立てておりました地域の元気臨時交付金基金をはじめ、財政調整積立金等の基金とともに、建設地方債等を活用し、歳入総額379億8,234万円を確保しました。この結果、歳入歳出差引額は2億8,520万円で、この額から「翌年度に繰り越すべき財源」1億8,181万円を差し引いた「実質収支額」は1億339万円となりました。

特別会計は、国民健康保険事業会計をはじめとする全8会計で黒字決算となりました。

基金残高は、一般会計で95億8,569万円、特別会計では37億7,694万円となりました。

市債残高は、一般会計では、建設事業債205億2,402万円と、臨時財政対策債等の149億4,963万円とを合わせた354億7,365万円となり、特別会計は306億6,603万円、企業会計では65億2,352万円となりました。

なお、市の総合計画前期実行計画で、26年度末建設地方債残高（一般会計）の目標値を210億円としておりましたことから、その目標を上回る結果を残すことができました。

※本資料の各数値は、単位未満四捨五入を基本に処理を行っております。

## 【参考】 平成26年度各会計決算状況

(単位:千円)

会 計 名	歳 入 (A)	伸 率	歳 出 (B)	伸 率	歳入歳出差引 (C)=(A)-(B)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実 質 収支額 (E)=(C)-(D)
一 般 会 計	37,982,338	3.6%	37,697,135	4.6%	285,203	181,812	103,391
特 別 会 計	23,612,364	1.4%	22,994,809	1.0%	617,555	5,140	612,415
国民健康保険 事業会計	9,261,018	-1.0%	9,129,704	-0.9%	131,314	-	131,314
簡易水道 事業会計	648,871	9.1%	639,863	10.3%	9,008	1,350	7,658
土地建物造成 事業会計	38,464	0.5%	3,808	-6.6%	34,656	-	34,656
貯木事業会計	475	-92.8%	475	-92.8%	0	-	0
下水道 事業会計	4,610,776	1.9%	4,608,320	2.1%	2,456	2,456	0
駐車場 事業会計	67,370	-17.4%	29,492	-53.8%	37,878	-	37,878
介護保険 事業会計	7,865,340	3.9%	7,468,462	2.6%	396,878	1,334	395,544
〔保険事業勘定〕	7,857,926	3.9%	7,462,703	2.6%	395,223	1,334	393,889
〔介護サービス 事業勘定〕	7,414	6.5%	5,759	13.9%	1,655	-	1,655
後期高齢者 医療事業会計	1,120,049	0.7%	1,114,686	0.3%	5,363	-	5,363
総 計	61,594,702	2.8%	60,691,944	3.2%	902,758	186,952	715,806

一般会計 昭和50年度以降連続黒字決算

特別会計 全ての会計(8会計)で黒字決算

※特別会計の計及び総計については、会計毎の端数処理により合致しない場合があります。

## 2 一般会計の決算状況

### ① 決算規模

#### (1) 決算収支

##### 【前年度比較】

	平成26年度 決算額 A	平成25年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成24年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	37,982,338	36,645,163	1,337,175	3.6	37,051,518
歳出総額 b	37,697,135	36,048,697	1,648,438	4.6	36,167,978
歳入歳出差引 c = a - b	285,203	596,466	△ 311,263	△ 52.2	883,540
翌年度に繰り 越すべき財源 d	181,812	301,586	△ 119,774	△ 39.7	346,864
実質収支 e = c - d	103,391	294,880	△ 191,489	△ 64.9	536,676

※昭和50年度以降連続黒字

25年度決算と比べると、歳出面では、総合文化会館の長寿命化整備や公立保育所の統合整備、子育て交流施設整備のほか、舞鶴YMC A国際福祉専門学校誘致に関連する施設整備や文化公園体育館の機能強化など、ターゲットイヤーである平成27年度への基礎固めのため各事業において積極的な取り組みを行った結果、前年度比で16億4,844万円の増加となりました。

一方、歳入面では、歳出の増加に対応して、府支出金が2億2,115万円、建設事業に充当した市債が8億4,846万円、地域の元気臨時交付金基金や財政調整積立金等からの繰入金金が20億6,137万円のそれぞれ増加となりました。また、一般財源では、地方交付税が1億4,846万円の増加となったものの、市税が4億5,257万円の減、前年度からの繰越金が2億8,707万円、臨時財政対策債が5,830万円のそれぞれ減少となりましたが、総額では13億3,718万円の増加となりました。

また、25年度と比べ、翌年度に繰り越すべき財源が1億1,977万円、実質収支が1億9,149万円のそれぞれ減少となりました。

##### 【予算・決算比較】

	平成26年度 決算額 A	平成26年度 予算額 D	差 引 E = D - A	比率 A/D
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	37,982,338	40,102,113	2,119,775	94.7
歳出総額 b	37,697,135	40,102,113	2,404,978	94.0
歳入歳出差引 c = a - b	285,203			

	平成25年度 決算額 B	平成25年度 予算額 D'	差 引 E' = D' - B	比率 B/D'
	千円	千円	千円	%
歳入総額 a	36,645,163	39,319,563	2,674,400	93.2
歳出総額 b	36,048,697	39,319,563	3,270,866	91.7
歳入歳出差引 c = a - b	596,466			

26年度における歳入予算に対する執行率は94.7%と前年度に比べて1.5%上昇、また、歳出予算に対する執行率についても94.0%（対前年度比2.3%上昇）となり、前年度に比べて歳入歳出間の比率差が縮小したことから、歳入歳出差引は減額となりました。

## (2) 歳入の決算状況

科目	平成26年度 決算額 A 千円	平成25年度 決算額 B 千円	差引 C=A-B 千円	増減率 C/B %	※歳入 構成比 %
<b>歳入総額</b>	<b>37,982,338</b>	<b>36,645,163</b>	<b>1,337,175</b>	<b>3.6</b>	

平成26年度は、市民税や固定資産税等の減少により市税が前年度比 4億5,257万円の減となりました。このほか、地方交付税や地方消費税交付金は増となったものの、一般財源である第1款 市税から第12款 交通安全対策特別交付金及び臨時財政対策債の合計額は、220億4,986万円となり、前年度比 2億2,499万円の減となりました。

また、地域の元気臨時交付金等の減により国庫支出金が8億1,616万円、繰越金が2億8,707万円、土地売払収入等の減により財産収入が2億6,243万円、土地開発公社からの地域開発用地等先行取得資金貸付金収入等の減により諸収入が1億1,254万円、それぞれ減少しました。

一方、基金等からの繰入金が20億6,137万円、市債が7億9,016万円、府支出金が2億2,115万円、それぞれ増加しました。

<b>1 市 税</b>	<b>12,945,598</b>	<b>13,398,164</b>	<b>△ 452,566</b>	<b>△ 3.4</b>	<b>34.1</b>
--------------	-------------------	-------------------	------------------	--------------	-------------

### 【主な増減事由】

市民税（個人）			△ 69,846	△ 1.8	10.1
市民税（法人）			△ 15,842	△ 2.7	1.5
固定資産税（土地・家屋・償却資産）			△ 341,077	△ 4.3	19.9
市たばこ税			△ 29,327	△ 4.1	1.8

<b>2 地方譲与税</b>	<b>288,177</b>	<b>300,817</b>	<b>△ 12,640</b>	<b>△ 4.2</b>	<b>0.8</b>
----------------	----------------	----------------	-----------------	--------------	------------

<b>3 利子割交付金</b>	<b>29,926</b>	<b>34,421</b>	<b>△ 4,495</b>	<b>△ 13.1</b>	<b>0.1</b>
-----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	------------

<b>4 配当割交付金</b>	<b>100,547</b>	<b>54,262</b>	<b>46,285</b>	<b>85.3</b>	<b>0.3</b>
-----------------	----------------	---------------	---------------	-------------	------------

<b>5 株式等譲渡所得割交付金</b>	<b>56,759</b>	<b>85,728</b>	<b>△ 28,969</b>	<b>△ 33.8</b>	<b>0.2</b>
----------------------	---------------	---------------	-----------------	---------------	------------

<b>6 地方消費税交付金</b>	<b>1,054,023</b>	<b>865,792</b>	<b>188,231</b>	<b>21.7</b>	<b>2.8</b>
-------------------	------------------	----------------	----------------	-------------	------------

<b>7 ゴルフ場利用税交付金</b>	<b>7,770</b>	<b>8,301</b>	<b>△ 531</b>	<b>△ 6.4</b>	<b>0.0</b>
---------------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------

8 自動車取得税交付金	54,865	101,528	△ 46,663	△ 46.0	0.1
9 国有提供施設等所在 市町村助成交付金	162,251	163,237	△ 986	△ 0.6	0.4
10 地方特例交付金	49,147	50,419	△ 1,272	△ 2.5	0.1
11 地方交付税	5,406,547	5,258,092	148,455	2.8	14.2

【主な増減事由】

普通交付税	140,839	3.5
特別交付税	7,616	0.6
※ 臨時財政対策債	△ 58,300	△ 3.0
※ 実質的な交付税額	90,155	1.3

12 交通安全対策特 別交付金	11,047	12,583	△ 1,536	△ 12.2	0.0
--------------------	--------	--------	---------	--------	-----

13 分担金及び負担金	442,473	448,179	△ 5,706	△ 1.3	1.2
-------------	---------	---------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

(農業) 基盤整備促進事業費分担金	4,238	55.8
漁港施設長寿命化事業費分担金	3,510	1,755.0
小規模治山事業費分担金	2,486	皆増
被災市町村負担金	△ 9,390	皆減
保育所保育料	△ 8,082	△ 2.0

14 使用料及び手数料	501,887	569,038	△ 67,151	△ 11.8	1.3
-------------	---------	---------	----------	--------	-----

【主な増減事由】

赤れんが博物館入館料	2,146	23.4
引揚記念館入館料	1,261	7.6
東地区中心市街地複合施設使用料	△ 22,719	皆減
体育館使用料	△ 18,418	皆減
可燃ごみ処分手数料	△ 18,237	△ 10.2
体育施設使用料	△ 8,088	△ 99.0

<b>15 国庫支出金</b>	5,053,917	5,870,078	△ 816,161	△ 13.9	13.3
-----------------	-----------	-----------	-----------	--------	------

【主な増減事由】

臨時福祉給付金給付事業費補助金	176,110	皆増
防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金	175,315	272.7
子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金	105,210	皆増
がんばる地域交付金	59,469	皆増
地域の元気臨時交付金	△ 778,431	皆減
社会資本整備総合交付金（住宅費）	△ 236,044	△ 85.5
学校施設環境改善交付金	△ 140,080	△ 64.8
生活保護費負担金	△ 131,141	△ 8.8

<b>16 府支出金</b>	2,933,625	2,712,478	221,147	8.2	7.7
----------------	-----------	-----------	---------	-----	-----

【主な増減事由】

避難施設等緊急時電力確保促進事業補助金	55,341	皆増
京都府北部福祉人材養成システム推進事業補助金	50,000	皆増
水産物供給基盤機能保全事業費補助金	44,475	384.6
国民健康保険基盤安定事業費補助金	41,700	20.5
基盤整備促進事業費補助金	31,365	128.1
障害者介護給付・訓練等給付費負担金	23,528	5.8
後期高齢者医療保険基盤安定負担金	16,613	11.1
選挙費委託金	15,192	28.3
介護基盤緊急整備特別対策事業費補助金	△ 33,600	皆減
緊急雇用創出事業費補助金	△ 17,861	△ 53.4
災害廃棄物処理委託金	△ 15,832	皆減

<b>17 財産収入</b>	118,079	380,513	△ 262,434	△ 69.0	0.3
----------------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

土地売却収入	△ 261,583	△ 97.5
--------	-----------	--------

<b>18 寄附金</b>	13,582	31,321	△ 17,739	△ 56.6	0.0
---------------	--------	--------	----------	--------	-----

【主な増減事由】

ふるさと応援寄付金	6,273	109.6
一般寄付金	△ 23,412	皆減

19 繰入金	2,224,474	163,109	2,061,365	1,263.8	5.9
--------	-----------	---------	-----------	---------	-----

【主な増減事由】

財政調整積立金繰入金	941,200	235,300.0
地域の元気臨時交付金基金繰入金	519,538	皆増
都市開発推進基金繰入金	420,000	皆増
減債基金繰入金	199,324	29,485.8
職員退職基金繰入金	100,000	皆増
公設地方卸売市場事業会計繰入金	△ 83,529	皆減

20 繰越金	596,466	883,540	△ 287,074	△ 32.5	1.6
--------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

現年度	△ 241,796	△ 45.1
繰越明許費	△ 45,278	△ 13.1

21 諸収入	1,254,026	1,366,570	△ 112,544	△ 8.2	3.3
--------	-----------	-----------	-----------	-------	-----

【主な増減事由】

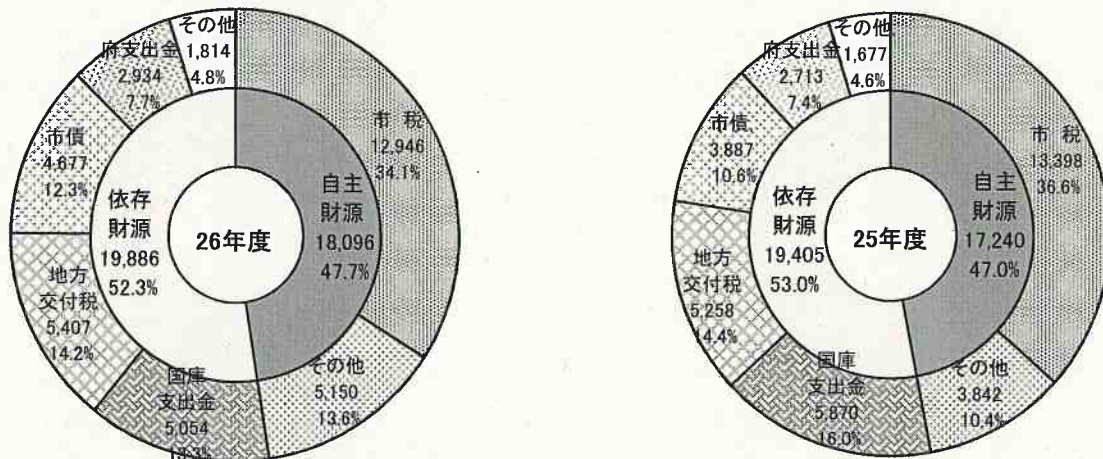
後期高齢者医療療養給付費負担金返還金	8,514	13.1
地域開発用地等先行取得資金貸付金収入	△ 45,759	皆減
中小企業災害特別融資制度貸付金収入	△ 20,000	皆減
水洗便所等改造資金貸付金元利収入	△ 17,717	△ 21.3
地域医療確保奨学金等貸付金収入	△ 16,800	皆減
消防団員退職報償金受入金	△ 7,859	△ 20.7
災害見舞金	△ 3,640	皆減

22 市債	4,677,152	3,886,993	790,159	20.3	12.3
-------	-----------	-----------	---------	------	------

【主な増減事由】

建設地方債	848,459	43.6
臨時財政対策債	△ 58,300	△ 3.0

歳入構成(自主財源・依存財源別)(単位:百万円)





(3) 歳出(目的別)の決算状況

科目	平成26年度 決算額 A 千円	平成25年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C/B %	※歳出 構成比 %
----	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------	-----------------

<b>歳出総額</b>	37,697,135	36,048,697	1,648,438	4.6	
-------------	------------	------------	-----------	-----	--

歳出(目的別)においては、総務費で総合文化会館整備や退職手当等による職員給与費などが増、民生費では公立保育所統合整備や子育て交流施設整備事業費などによる増、更には、高機能消防司令システム更新整備事業費を行った消防費や、文化公園体育館整備事業費等による教育費などがそれぞれ増加となりました。

一方、土木費では、公営住宅建替事業費などが減少、衛生費は病院事業会計への補助金、及び出資金などが減、また、災害復旧費でも台風災害からの復旧事業費が減少となりました。

この結果、歳出総額では、前年度比で16億4,844万円の増となりました。

<b>議会費</b>	349,978	349,297	681	0.2	0.9
------------	---------	---------	-----	-----	-----

【主な増減事由】

職員給与費	6,080	12.5
舞鶴市議会70周年記念事業費	△ 2,139	皆減
議員報酬等経費	△ 2,551	△ 1.3
政務活動費補助金	△ 1,524	△ 22.1

<b>総務費</b>	5,405,080	4,981,517	423,563	8.5	14.4
------------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

職員給与費(総務管理費)	360,521	21.7
文化施設整備事業費	450,517	1,015.7
財産管理経費	165,919	164.7
過年度税外収入還付金	175,298	422.2
選挙執行経費(衆議院議員・市議会議員・市長選挙ほか)	110,771	206.2
海フェスタ京都開催事業費	41,601	皆増
引揚記念館整備事業費	21,752	227.7
地域の元気臨時交付金基金積立金	△ 515,924	△ 99.7
情報システム管理経費	△ 214,983	△ 59.1
財政調整積立金	△ 150,000	△ 48.9

<b>民生費</b>	13,543,968	12,137,332	1,406,636	11.6	35.9
------------	------------	------------	-----------	------	------

【主な増減事由】

臨時福祉給付金給付事業費	185,999	皆増
障害者施設支援給付費	53,578	4.3
国民健康保険事業会計繰出金	63,035	11.1
子育て世帯臨時特例給付金	111,509	皆増
子育て交流施設整備事業費	612,519	777.5
公立保育所統合整備事業費	447,417	2,377.2
生活保護費(扶助費)	94,490	5.4
地域密着型サービス拠点施設整備費補助金	△ 33,600	皆減
児童手当給付費	△ 40,005	△ 3.1
災害廃棄物処理経費	△ 121,156	皆減

<b>衛生費</b>	3,255,488	3,509,711	△ 254,223	△ 7.2	8.6
------------	-----------	-----------	-----------	-------	-----

【主な増減事由】

予防接種事業費	25,817	12.5
働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業費	13,923	皆増
舞鶴市休日急病診療所整備事業費	59,187	皆増
ごみ減量化推進事業費	20,583	33.4
し尿処理施設改築事業費	136,349	324.7
病院事業会計補助金	△ 181,855	△ 25.7
病院事業会計出資金	△ 368,700	皆減

<b>労働費</b>	200,035	98,927	101,108	102.2	0.5
------------	---------	--------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

勤労者福祉センター等移転整備事業費	108,436	皆増
緊急雇用創出事業費	△ 17,861	△ 53.4

<b>農林水産業費</b>	879,167	820,590	58,577	7.1	2.3
---------------	---------	---------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

農村復興地域づくり支援事業費補助金	17,500	180.4
青年就農給付金	15,000	250.0
自然休養村管理センター建物等除却事業費	25,469	皆増
災害に強い農場拡大支援事業費補助金	9,586	皆増
基盤整備促進事業費	37,655	88.2
中丹地域有害鳥獣処理施設整備事業費負担金	38,184	皆増
漁港施設長寿命化事業費	69,813	402.5
漁港海岸保全対策事業費	△ 39,348	△ 88.8
舞鶴湾漁場造成事業費	△ 39,059	皆減
土地改良事業費補助金	△ 29,954	△ 74.5

万願寺甘とう振興事業費	△ 16,505	△ 47.9
農機具等農業設備復旧支援事業費補助金	△ 9,203	△ 91.7

<b>商工費</b>	1,408,753	1,411,388	△ 2,635	△ 0.2	3.8
------------	-----------	-----------	---------	-------	-----

【主な増減事由】

職員給与費（商工総務費）	7,070	5.5
舞鶴赤れんがパークブランディング事業費	15,230	41.6
商工観光センター改修事業費	7,241	282.0
企業誘致実現プロジェクト事業費	7,467	17.4
中小企業融資制度保証料補給金	7,188	65.6
京都舞鶴港振興会等補助金	9,876	8.4
まいづる元気産業創出事業費	△ 20,625	△ 95.4
中小企業災害特別融資制度貸付金	△ 20,000	皆減
商工観光センター管理経費	△ 12,291	△ 15.7
東地区中心市街地複合施設管理運営経費	△ 10,998	△ 49.2

<b>土木費</b>	3,881,202	4,385,424	△ 504,222	△ 11.5	10.3
------------	-----------	-----------	-----------	--------	------

【主な増減事由】

幹線道路整備事業費	49,980	21.8
地域内道路整備事業費	45,100	64.2
道路施設修繕事業費	21,795	20.1
地域間連絡道路整備事業費	57,500	54.3
河川整備事業費	54,534	88.8
京都舞鶴港整備事業費負担金	16,000	80.0
都市公園整備事業費	21,490	34.1
下水道事業会計繰出金	71,248	5.3
都市計画基礎調査等事業費	16,578	604.2
みんなにやさしい安全道路整備事業費	△ 48,613	皆減
防衛施設周辺整備事業費	△ 39,800	△ 58.9
交通安全推進事業費	△ 81,365	△ 41.9
道路舗装修繕事業費	△ 37,199	△ 42.4
前島みなと歩道橋周辺整備事業費	△ 62,994	△ 93.6
公営住宅改善事業費	△ 69,285	△ 95.8
公営住宅建替事業費	△ 514,300	△ 88.4

<b>消防費</b>	1,793,212	1,456,211	337,001	23.1	4.8
------------	-----------	-----------	---------	------	-----

【主な増減事由】

高機能消防指令システム更新整備事業費	298,182	皆増
職員給与費	151,907	15.7
消防救急無線デジタル化事業費	△ 91,514	△ 57.4
消防施設整備事業費	△ 34,597	△ 41.4

<b>教育費</b>	3,215,552	2,998,613	216,939	7.2	8.5
------------	-----------	-----------	---------	-----	-----

【主な増減事由】

職員給与費（事務局費）	44,440	17.6
教育用コンピュータ経費（小学校費）	25,009	88.5
施設整備事業費（小学校費）	38,687	105.5
施設整備事業費（中学校費）	35,597	270.6
学校給食運営経費（中学校費）	55,227	58.9
校舎等改修事業費（中学校費）	25,740	52.3
私立幼稚園就園奨励費補助金	41,369	31.9
緊急時電力確保設備整備事業費	31,997	皆増
施設整備事業費（体育館費）	221,598	2,548.0
校舎等改修事業費（小学校費）	△ 293,950	△ 43.3
体育施設整備事業費	△ 38,148	△ 86.3
保健体育総務一般事務経費	△ 20,581	△ 72.1

<b>公債費</b>	3,575,289	3,551,416	23,873	0.7	9.5
------------	-----------	-----------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

建設地方債	△ 26,692	△ 1.0
その他	50,565	5.2

<b>災害復旧費</b>	189,411	348,271	△ 158,860	△ 45.6	0.5
--------------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

農林水産施設災害復旧費	20,603	25.2
公共土木施設災害復旧費	△ 152,418	△ 63.7
その他公共施設災害復旧費	△ 27,045	皆減

#### (4) 歳出(性質別)の状況

科目	平成26年度 決算額 A 千円	平成25年度 決算額 B 千円	差引 C = A - B 千円	増減率 C/B %	※歳出 構成比 %
----	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------	-----------------

歳出(性質別)で最も増加額が大きい普通建設事業費では、子育て交流施設や公立保育所統合整備、総合文化会館の改修整備による文化施設整備、高機能消防指令システムの更新整備、文化公園体育館の施設整備等により、前年度比で16億9,423万円増加しています。このほか、人件費では退職手当等の増により、扶助費では臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金増等により、繰出金では下水道事業会計などへの繰出金の増によりそれぞれ増加しました。

一方、積立金では地域の元気臨時交付金基金や財政調整積立金の減、出資金・貸付金では病院事業会計出資金等の減により、また、災害復旧事業費では道路橋りょう災害復旧事業費等の減によりそれぞれ減少しました。

義務的経費	18,258,249	17,116,397	1,141,852	6.7	48.4
人件費	6,499,601	5,861,691	637,910	10.9	17.2

##### 【主な増減事由】

退職手当	344,938	73.6
職員給(一般)	216,383	5.4

扶助費	8,183,359	7,703,290	480,069	6.2	21.7
-----	-----------	-----------	---------	-----	------

##### 【主な増減事由】

障害者施設支援給付費	67,452	5.2
臨時福祉給付金給付事業費	175,220	皆増
保育委託事業費(私立)	28,169	2.6
子育て世帯臨時特例給付金	104,940	皆増
生活保護扶助費	94,490	5.4
児童手当給付費	△ 39,140	△ 3.0

公債費	3,575,289	3,551,416	23,873	0.7	9.5
-----	-----------	-----------	--------	-----	-----

##### 【主な増減事由】

元金	55,863	1.8
利子	△ 31,990	△ 7.6

その他	12,933,219	13,962,004	△ 1,028,785	△ 7.4	34.3
物件費	4,672,846	4,726,474	△ 53,628	△ 1.1	12.9

【主な増減事由】

選挙執行経費（衆議院議員、市議会議員、市長等選挙経費）	49,487	163.8
予防接種事業費	25,760	12.5
働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業費	13,923	皆増
ごみ減量化推進事業費	20,858	35.8
都市計画基礎調査経費	16,379	596.9
（小学校費）教育用コンピュータ経費	24,173	85.6
（中学校費）学校給食運営経費	73,628	113.4
情報システム管理経費	△ 214,408	△ 59.0
災害廃棄物処理経費	△ 104,442	皆減

維持補修費	220,052	235,220	△ 15,168	△ 6.4	0.6
-------	---------	---------	----------	-------	-----

補助費等	2,745,026	2,674,960	70,066	2.6	7.6
------	-----------	-----------	--------	-----	-----

【主な増減事由】

海フェスタ京都開催事業費	30,000	皆増
過年度税外収入還付金	175,298	422.2
過年度税収入還付金	18,488	42.1
市議会議員一般選挙経費	27,326	皆増
病院事業会計補助金（病院分・診療所分）	△ 181,854	△ 25.7

積立金	196,170	944,373	△ 748,203	△ 79.2	0.5
-----	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

ふるさと応援基金	6,280	109.1
財政調整積立金	△ 150,000	△ 48.9
財政調整積立金（市場施設改良基金分）	△ 83,529	皆減
都市開発推進基金積立金	△ 2,000	△ 25.0
地域の元気臨時交付金基金積立金	△ 515,924	△ 99.7

<b>出資金・貸付金</b>	741,102	1,181,736	△ 440,634	△ 37.3	2.0
----------------	---------	-----------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

舞鶴地域医療連携機構設立事業費	△ 20,000	皆減
病院事業会計出資金	△ 368,700	皆減
中小企業災害特別融資制度貸付金	△ 20,000	皆減
水洗便所等改造資金貸付金	△ 28,368	△ 55.9

<b>繰出金</b>	4,358,023	4,199,241	158,782	3.8	12.0
------------	-----------	-----------	---------	-----	------

【主な増減事由】

国民健康保険事業会計繰出金	63,035	11.1
後期高齢者医療事業会計繰出金	27,867	12.0
介護保険事業会計繰出金	26,568	2.4
下水道事業会計繰出金	71,249	5.3
後期高齢者医療療養給付費負担金	△ 19,015	△ 2.2

<b>投資的経費</b>	6,505,667	4,970,296	1,535,371	30.9	17.3
--------------	-----------	-----------	-----------	------	------

<b>普通建設事業費</b>	6,316,256	4,622,025	1,694,231	36.7	16.8
----------------	-----------	-----------	-----------	------	------

【主な増減事由】

財産管理経費	162,073	195.2
文化施設整備事業費	451,727	1,047.0
子育て交流施設整備事業費	614,172	801.0
公立保育所統合整備事業費	445,840	2,369.0
高機能消防指令システム更新整備事業費	298,182	皆増
施設整備事業費（文化公園体育館）	221,598	2,548.0
公営住宅建替事業費	△ 514,300	△ 88.4

<b>災害復旧事業費</b>	189,411	348,271	△ 158,860	△ 45.6	0.5
----------------	---------	---------	-----------	--------	-----

【主な増減事由】

道路橋りょう災害復旧事業費	△ 109,152	△ 64.0
河川災害復旧事業費	△ 40,328	△ 61.2

## ② 基金残高の状況

一般会計では、財政調整積立金が7億8,460万円の減、地域の元気臨時交付金基金(年度末で廃止)が5億1,773万円の減、都市開発推進基金が4億1,400万円の減などにより、20億2,830万円の減となり、特別会計では、国民健康保険事業基金1億2,587万円の減などにより、1億6,424万円の減となり、全会計では、21億9,254万円の減となりました。

	平成25年度末	積立	取崩	平成26年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	11,613,995	196,170	2,224,474	9,585,691
財政調整積立金	4,202,798	157,000	941,600	3,418,198
減債基金	1,072,566	3,000	200,000	875,566
職員退職手当基金	1,024,000	2,000	100,000	926,000
その他	5,314,631	34,170	982,874	4,365,927
特別会計	3,941,172	14,563	178,800	3,776,935
計	15,555,167	210,733	2,403,274	13,362,626

## ③ 市債残高の状況

一般会計では、建設地方債が5億478万円の増、臨時財政対策債など交付税振替分の市債が9億8,552万円の増となり、14億9,030万円の増となりました。また、特別会計では、簡易水道事業債が1億9,691万円の増、下水道事業債が3,660万円の減等により、1億5,695万円の増に、企業会計では、水道事業債が1億9,370万円の減、病院事業債が5,093万円の減になったことにより、2億4,463万円の減となりましたことから、全会計で14億262万円の増となりました。

	平成25年度末	償還	借入	平成26年度末
	千円	千円	千円	千円
一般会計	33,983,349	3,186,855	4,677,152	35,473,646
建設地方債	20,019,232	2,289,169	2,793,952	20,524,015
臨時財政対策債等	13,964,117	897,686	1,883,200	14,949,631
特別会計	30,509,082	1,668,375	1,825,320	30,666,027
企業会計	6,768,140	322,224	77,600	6,523,516
計	71,260,571	5,177,454	6,580,072	72,663,189



### 3 特別会計の決算状況

#### ① 国民健康保険事業会計

		平成26年度	平成25年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成24年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	9,261,018	9,355,241	△ 94,223	△ 1.0	9,203,972
歳出総額	b	9,129,704	9,208,984	△ 79,280	△ 0.9	8,858,811
歳入歳出差引	c = a - b	131,314	146,257	△ 14,943	△ 10.2	345,161
翌年度に繰り 越すべき財源	d	-	-	-	-	-
実質収支	e = c - d	131,314	146,257	△ 14,943	△ 10.2	345,161

国民健康保険事業においては、高齢者を中心に医療費が年々増加傾向にある中、一般分保険給付費の増加に伴う国庫支出金の増額や、保険料負担軽減のための基金繰入金、一般会計繰入金が増額となる一方、退職分保険給付費の減少などに伴う療養給付費交付金の減額などにより、平成26年度の歳入は、総額で9,261,018千円、また歳出は、退職分保険給付費が減少したことなどにより総額で9,129,704千円となり、歳入歳出差引は131,314千円の黒字となりました。しかしながら、前年度からの繰越金146,257千円を除いた単年度収支では14,943千円の赤字となっております。

#### ② 簡易水道事業会計

		平成26年度	平成25年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成24年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	648,871	594,791	54,080	9.1	576,252
歳出総額	b	639,863	580,114	59,749	10.3	564,674
歳入歳出差引	c = a - b	9,008	14,677	△ 5,669	△ 38.6	11,578
翌年度に繰り 越すべき財源	d	1,350	-	1,350	皆増	-
実質収支	e = c - d	7,658	14,677	△ 7,019	△ 47.8	11,578

本市では、国の「簡易水道と上水道との統合を促進する方針」を受け、平成29年4月1日から全ての簡易水道を上水道に統合するため、「舞鶴市簡易水道統合計画」に基づき、配水池や配水管等の施設整備を進めています。平成26年度は、東大浦・西地区の簡易水道統合整備事業、小原地区の水道未普及地域解消事業及び瀬崎地区の水質を改善するための増補改良事業を実施するとともに、新たに、事故時の通報装置が設置されていない簡易水道施設に遠隔監視装置を整備する事業に着手しました。

平成26年度決算における歳入歳出差引は、前年度に比べ5,669千円、38.6%減の9,008千円となりました。

### ③ 土地建物造成事業会計

	平成26年度 決算額 A	平成25年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成24年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	38,464	38,285	179	0.5	37,996
歳出総額 b	3,808	4,078	△ 270	△ 6.6	3,989
歳入歳出差引 c = a - b	34,656	34,207	449	1.3	34,007
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	34,656	34,207	449	1.3	34,007

土地建物造成事業会計は、宅地造成や公共用地の先行取得を目的として設置したものであり、土地開発基金や土地貸付などの運用を行っています。

26年度決算につきましては、歳入は、本会計で管理している土地の貸付料450千円、土地開発基金の利子3,807千円、前年度からの繰越金34,207千円であり、歳入総額は38,464千円となり、歳出は、土地開発基金利子分の基金への繰出金3,807千円等であり、歳出総額は3,808千円となり、この結果、歳入歳出差引は34,656千円の黒字となりました。

### ④ 貯木事業会計

	平成26年度 決算額 A	平成25年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成24年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	475	6,640	△ 6,165	△ 92.8	12,093
歳出総額 b	475	6,635	△ 6,160	△ 92.8	12,092
歳入歳出差引 c = a - b	0	5	△ 5	△ 100.0	1
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	0	5	△ 5	△ 100.0	1

貯木事業会計は、平地区の海域で舞鶴市が管理・運営を行っております舞鶴市貯木場に係るものですが、当貯木場は、平成17年7月より使用を休止しており、今後の利用計画が決定するまでの間、必要最小限の施設の維持管理を行っています。

26年度決算につきましては、歳入は、排水設備設置に係る行政財産使用料、基金繰入金等であり、歳入合計は475千円、前年度に比べ6,165千円の減となりました。

また、歳出は、貯木場施設の維持管理に係る経費であり、灯浮標点検調査を実施しており、歳出合計は475千円、前年度に比べ6,160千円の減となりました。

## ⑤ 下水道事業会計

		平成26年度	平成25年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成24年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	4,610,776	4,524,631	86,145	1.9	4,781,738
歳出総額	b	4,608,320	4,514,093	94,227	2.1	4,768,119
歳入歳出差引	c = a - b	2,456	10,538	△ 8,082	△ 76.7	13,619
翌年度に繰り 越すべき財源	d	2,456	10,538	△ 8,082	△ 76.7	4,051
実質収支	e = c - d	0	0	-	-	9,568

下水道事業においては、公共下水道の処理区域の拡大や、これに伴う浄化センターの整備を進めるとともに、下水道施設の改築更新・長寿命化に取り組んでまいりました。この結果、平成26年度末の全市水洗化普及率は、前年度より0.6ポイント増の94.1%となりました。

これらの施設の維持管理につきましては、施設の老朽化による事故の未然防止や安定した水処理を継続するため、下水道管の調査や対策を実施し、浄化センターでは良好な放流水質の維持や資源の再利用など、効率的で適正な運転管理に努めました。

平成26年度の決算においては、歳入歳出差引は2,456千円であり、同額を翌年度繰越事業の財源としているため、実質収支は均衡しています。

## ⑥ 駐車場事業会計

		平成26年度	平成25年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成24年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	67,370	81,571	△ 14,201	△ 17.4	51,942
歳出総額	b	29,492	63,899	△ 34,407	△ 53.8	22,955
歳入歳出差引	c = a - b	37,878	17,672	20,206	114.3	28,987
翌年度に繰り 越すべき財源	d	-	-	-	-	-
実質収支	e = c - d	37,878	17,672	20,206	114.3	28,987

駐車場事業においては、平成26年度から七条駐車場の管理を市直営としております。

26年度決算につきましては、歳入は使用料及び25年度からの繰越金等であり、歳入総額は67,370千円で、前年度に比べ14,201千円の減。歳出は、駐車場の施設管理経費、駐車場用地の賃借料及び駐車場整備の際に借り入れた駐車場事業債の償還金等であり、歳出総額は29,492千円で、前年度に比べ34,407千円の減となりました。

この結果、歳入歳出差引は37,878千円の黒字となり、前年度からの繰越金を除く単年度収支は20,206千円の黒字となっています。

また、駐車場の利用状況は、26年度は前年度に比べて、駐車台数は5.8%の増、駐車場使用料は13.2%の増となっています。

## ⑦ 介護保険事業会計

### (保険事業勘定)

		平成26年度	平成25年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成24年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	7,857,926	7,562,475	295,451	3.9	7,167,079
歳出総額	b	7,462,703	7,274,775	187,928	2.6	7,044,054
歳入歳出差引	c = a - b	395,223	287,700	107,523	37.4	123,025
翌年度に繰り越すべき財源	d	1,334	-	1,334	皆増	-
実質収支	e = c - d	393,889	287,700	106,189	36.9	123,025

平成26年度の介護保険事業・保険事業勘定におきましては、第5期介護保険事業計画（平成24～26年度の3ヶ年）に基づき、保険給付や地域支援事業等を実施しました。

要介護・要支援者の認定者数は、26年度末で4,816人となり、前年度末と比較して80人増加。また、サービス利用者数は、27年2月時点で3,995人となり、前年同期と比較して10人の増加となっています。こうした介護サービス利用者の増加等により、歳出の保険給付費が増加し、これに伴い歳入の国支出金なども増加したことから、26年度決算では、歳入総額は7,857,926千円で、前年度に比べ295,451千円、3.9%の増、歳出総額では、7,462,703千円で、前年度に比べ187,928千円、2.6%の増となり、歳入歳出差引は395,223千円の黒字となりました。

### (介護サービス事業勘定)

		平成26年度	平成25年度	差 引	増減率	(参考)
		決算額 A	決算額 B	C	C/B	平成24年度
		千円	千円	千円	%	千円
歳入総額	a	7,414	6,962	452	6.5	4,588
歳出総額	b	5,759	5,058	701	13.9	3,101
歳入歳出差引	c = a - b	1,655	1,904	△ 249	△ 13.1	1,487
翌年度に繰り越すべき財源	d	-	-	-	-	-
実質収支	e = c - d	1,655	1,904	△ 249	△ 13.1	1,487

介護サービス事業勘定におきましては、城南地域包括支援センターにおいて実施しております介護サービス事業に関するもので、歳入総額では、介護予防支援費収入として7,414千円、歳出総額はケアプランの作成業務などで5,759千円となっており、歳入歳出差引では1,655千円の黒字となっております。

## ⑧ 後期高齢者医療事業会計

	平成26年度 決算額 A	平成25年度 決算額 B	差 引 C	増減率 C/B	(参考) 平成24年度
	千円	千円	千円	%	千円
歳入総額 a	1,120,049	1,111,769	8,280	0.7	1,118,340
歳出総額 b	1,114,686	1,110,934	3,752	0.3	1,111,777
歳入歳出差引 c = a - b	5,363	835	4,528	542.3	6,563
翌年度に繰り 越すべき財源 d	-	-	-	-	-
実質収支 e = c - d	5,363	835	4,528	542.3	6,563

後期高齢者医療事業につきましては、後期高齢者医療制度によって、市が徴収した保険料、一般会計からの繰入金などを受入れ、府内の全ての市町村が加入する京都府後期高齢者医療広域連合が主体となり市町村と役割分担をして運営しています。

具体的には、広域連合が、被保険者の認定や保険料の決定、保険給付の審査・支払等を行い、市では、保険料の徴収のほか、保険証の引き渡しや各種届出の受付などの窓口業務を行っています。

これに伴い、会計経理についても、歳入で保険料、一般会計からの繰入金等を受け入れ、歳出で職員給与費の事業運営費等を除いて、全て広域連合へ納付しております。

26年度決算における歳入歳出差引は5,363千円ですが、これは、出納整理期間中に納付された26年度の保険料であり、27年度に繰り越して広域連合へ納付します。

#### 4 主要財政指標等の推移（平成22年度～26年度）

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
項 目					
財政力指数	0.721	0.715	0.729	0.739	0.728

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額／基準財政需要額で得た数値を過去3ヶ年平均したものです。  
この数値が1に近いほど財源に余裕があるとされています。

経常収支比率 (%)					
一般会計	84.0	84.3	90.3	88.1	96.1
普通会計	84.0	84.4	90.7	88.5	96.4

経常的一般財源（歳入：市税、譲与税、普通交付税等）に対する経常的経費（歳出：人件費、扶助費、公債費など容易に縮減が困難な経費）充当一般財源の割合です。その大きさによって財政の健全性、弾力性をみることができる総合的な指数です。

26年度一般会計の経常収支比率につきましては、25年度に比べ、歳入で固定資産税等市税収入が約4.5億円、臨時財政対策債が約0.6億円の減となり、普通交付税で約1.4億円、地方消費税交付金が約1.9億の増となったものの、経常的一般財源の額（分母）は、約2.3億円の減となりました。

一方、歳出では、経常経費充当一般財源の額（分子）が、人件費で退職手当の増などで約6.1億円、扶助費で約3.1億円、物件費で約2.7億円の増加などにより、約14.6億円の増となり、この結果、経常収支比率は8.0ポイントの増となりました。

公債費負担比率 (%)	14.4	14.7	14.2	14.1	14.4
-------------	------	------	------	------	------

一般財源総額に対する公債費に充当された一般財源の割合で、この率が高いほど財政運営の硬直性の高まりを示します。

公債費比率 (%)	11.3	11.2	10.8	10.1	9.8
-----------	------	------	------	------	-----

経常的一般財源に対する地方債にかかる元利償還に要する経費の割合です。

## 5 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく健全化判断比率等の状況

(単位：%)

健全化判断比率	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
実質赤字比率	—	—	—	—	—

一般会計等の赤字の程度を指標化したもので、(一般会計等の赤字額) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど財政運営状況が深刻であると判断されます。

連結実質赤字比率	—	—	—	—	—
----------	---	---	---	---	---

市の全ての会計の赤字・黒字を合計した場合の赤字の程度を指標化したもので、(全ての会計の赤字・黒字を合算した場合の赤字) / (標準財政規模) で求められる数値です。この数値が高いほど市全体の財政運営状況が深刻であると判断されます。

実質公債費比率	10.6	10.4	10.4	10.5	10.3
---------	------	------	------	------	------

標準財政規模に占める実質的な公債費(他会計の公債費に対する一般会計繰出金等を含む)に費やした一般財源の割合を表す数値の過去3ヶ年平均値です。18%以上の団体は、地方債の発行に際し、都道府県知事の許可が必要となります。さらに、25%以上になると、財政健全化計画、35%以上になると、財政再生計画の策定が義務付けられています。

将来負担比率	71.2	75.3	75.3	80.9	99.1
--------	------	------	------	------	------

地方債や、他会計の公債費に対して支出が見込まれる一般会計繰出金など、将来支払っていく可能性のある負担等の年度末時点における残高(充当可能財源等を除く)の、標準財政規模に占める割合を指標化した数値です。この数値が高いほど将来、財政を圧迫する可能性が高いと判断され、350%以上になると、財政健全化計画の策定が義務付けられています。

### 公営企業の資金不足比率

水道事業会計	—	—	—	—	—
病院事業会計	—	—	—	—	—
簡易水道事業会計	—	—	—	—	—
貯木事業会計	—	—	—	—	—
公設地方卸売市場事業会計	—	—	158.7	—	—
下水道事業会計	—	—	—	—	—

企業会計の資金不足(赤字)の程度を指標化したもので、(それぞれの企業会計の資金不足額) / (それぞれの企業会計の事業の規模) で求められる数値です。この数値が高いほど企業会計の財政運営状況が深刻であると判断されます。

※実質赤字比率、連結実質赤字比率、資金不足比率は赤字又は資金不足が発生した場合のみ算出されるもので、比率が算出されない場合は「—」と表示しています。